

有森科研・意思決定支援勉強会共催 講演会

共有意思決定支援を標準化するための ガイドライン作成と活用

ー 認知症の人の日常生活・社会生活における
意思決定支援ガイドライン作成の経験から ー

共有意思決定支援を標準化するためには、多くの医療者、患者（市民）両者にとって
共通の指針となるガイドラインが役立ちます。

今回は、平成30年3月に提示された「認知症の人の日常生活・社会生活における意思
決定支援ガイドライン（案）」作成に尽力されている中京大学 稲葉一人先生をお迎え
して、作成のプロセス、ガイドラインの活用について、ご講演をいただきます。

開催
日時

平成**30**年 **6**月 **8**日（金）
18時 開始

講師

稲葉一人 先生
中京大学法科大学院 教授

会場

聖路加国際大学
大村進・美枝子記念聖路加臨床学術センターCCA 3階 3301
〒104-0045 東京都中央区築地3-6

申し込み
方法

参加費は無料です。事前に以下のURLまたは
右記のバーコードから申し込んでください。
定員（100名）になりましたら締め切らせていただきます。
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdogUnsp_n_gIN3oeP2zMgqAlb8feUxTCF37h35ISSIjoQrnNQ/viewform



問い合わせ先：青木裕見 yumiaoki@slcn.ac.jp
（聖路加国際大学大学院、意思決定支援勉強会運営メンバー）

本講演は、文部科研基盤B「産科医療施設における倫理的葛藤を低減する共有意思決定教育プログラムの
介入研究」（研究代表者：有森直子、新潟大学大学院保健学研究科看護学分野）研究課題番号：17H04427
の活動の一部として行われます。